

『わんぱくキッチン』



学区内の子ども達との繋がりを増やしていきたい。その方法として、子ども達と共に簡単な料理を作ったり一緒に食べたり、ゲームをしたりして楽しみましょう。こう考えて「わんぱくキッチン」を、民生委員児童委員協議会と一緒に、今年から始めることとしました。

第一回目を八月二五日に、実施しました。

最初ですので、皆で、定番のカレーライスを作り、簡単なデザートを作りました。



ジャガイモの皮をむいたり、玉ねぎを切ったり、真剣に包丁を使っていました。こうして自分たちで作った料理を味わったり、隣のグループの食べ比べてみたり、やはり自分の作ったものが最高だったようです。

食事のあとの、後片付けも協力して皆で出来ました。



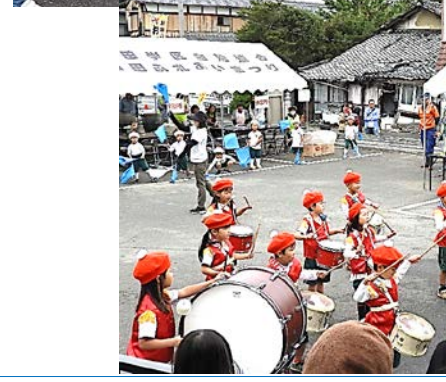
子どもと大人が一緒に楽しむゲームも初めてでしょう。大勢でワイワイ言いながら楽しみました。

料理にしてもゲームにしても楽しく、新たな繋がりが生まれましたし、今日一日、目の輝きが違う子ども達に出会えたことは、次回以降の実施に向けた大きな励みになります。

子どもと大人が一緒に楽しむゲームも初めてでしょう。大勢でワイワイ言いながら楽しみました。



ふれあいまつり



十月二十日、山田学区のふれあいまつりがありました。今年も、市協のマスケットキャラクターの「ふくちゃん」が来てくれました。

子どもたちは大喜びで、どこに行っても子どもに取り囲まれていました。

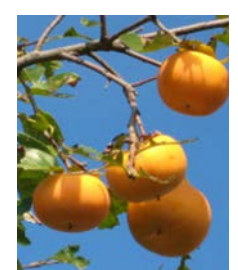
学区社協は、活動の啓発を行うとともに、学区内の施設の皆さんと共同で模擬店を出店しています。

また、赤い羽根の共同募金を行います。一万千七百四十九円の募金をいただきました。ありがとうございます。

早くも十二月になってしまいました。

ここ数回の社協だよりは、医療福祉を考える会議の内容を広く広報することに力点を置いて編集しています。

このため、内側の二面を使っています。皆さんの声を聞かせていただけるとありがたいです。AO



山田学区 社協だより

第72号
行学区
発田山
山社会福社協議会

人権研修

今年の人権研修は十月十日、湖南市の長壽寺に参拝し、同寺の藤支照子様の講話をお聞きしました。そのポイントはつぎのとおりです。

▼感謝の心をもちましょう
今は長寿社会と言われていて、長寿といつのは育ててもらってありがとう、七〇余年、恵まれし命なりしは、「今日の日には再び来ぬ尊き一日として喜んで生きさせてもらっている」との思いが無ければ長寿とは言わないですよ。

▼私たち、もっと骨太の老人にならなアカン
年金くれはるようになったら、仕事を止めてあげよう。そして孫のものをしないでテレビののりをしてる。私たちの子どもは、「行っておいで」「お帰り」と声を掛けてくれている。



▼人と人の繋がりが大切
昨夜のテレビみられましたか。お店に行って、勝手に品物持って出ていいんですよ。世の中が進んで来て、お店に行っても、誰とも話ることなく、品物を持ってきて、ちゃんとその人を判断し、買ったものを判断し、自動で決済できるようなところが出来てきました。「いらっしゃいませ」「これ下さい」「ありがとう」「ございました」こんな言葉がなくなってしまう。人と人との繋がりがなくなってしまう。万引き捕まえる必要がないのです。

「おかげさま」ということに向き合わない限り、この日本の国はどこにもありませんね。「おかげさま」を世界語にしたいと頑張っています。「もったいない」「おもてなし」は有名になりました。このことに皆さんが気づいてくれることを願っています。それが今日お会いした御縁とと思っています。

福祉講座



十一月二日、福祉講座を開催しました。

以前にも実施したことがありますが、匠の里ゲーム使いグループ討論により自らのスキルアップを図る研修です。

学区社協のみならず、地域活動の場においても、皆で話し合い、互いに情報を共有する場は少なくありません。

相手の話す言葉をていねいに受け取ること、自分の知らない情報を得るといいう場面でも重要です。また、自分の持っている情報だけでは課題が解決できない場合もあり、他の誰かの情報から、解決の糸口が見つかることもあります。併せて自分のもっている情報を正確に相手に伝えることも、とても大切なことです。

みなさん、とっかかりは「さっぱり分からん」「どうすりゃいいんだ」




山田学区の医療福祉を考える会議

草津総合病院長 平野先生のお話から

医療福祉を考える会議は、学区社協をはじめとした地域の代表と、医師会、ケアマネジャー、訪問介護事業者代表、福祉関係行政担当者、市社協と地域包括支援センターなどの専門職が集まり、地域の高齢者の問題について話し合いましょうという会議です。当学区では、平成25年度から始めています。

今回は第13回目の会議で8月9日(木)に開催しました。



2025年になりますと、5人に1人が75歳以上、3人に1人が65歳以上の高齢者

昔ばなし ある所におじいさんとおばあさんが住んでいました。

今のおはなし いたる所におじいさんとおばあさんが住んでいます。

2017年7月 厚労省の発表
平均寿命、男性 80.98 歳
女性 87.14 歳

今や人生 100 年の時代になってきています。

健康寿命 健康上の問題で日常生活が制限されずに生活できる期間

2010年頃をピークに日本の人口が減る。

2010年頃までは高齢者が増える。

その後、生産年齢(14~64歳)人口が減る

ただ、湖南医療圏(草津、守山、野洲、栗東)の人口は、平成47年(2035年)まで増え続けるとされています。

H27 滋賀県
平均寿命 男 81.78 女 87.57
健康寿命 男 80.23 女 84.20
草津市
平均寿命 男 82.62 女 87.88 県内1位
健康寿命 男 81.22 女 84.92 //

国では、健康寿命を3年以上伸ばしましょうと言っています

平均寿命と健康寿命の差は、男性で約9年、女性で約12年の差があります

喫煙が少ないのと塩分が少ない食事だそうです

2025年問題 2つ目の問題です。多死社会です

草津市では、市内の65歳以上の患者さんの死亡見込み数は、2025年には1000人を超え、2035年には1400人を超えると推計。病院の死者数は818人で満床となります。ですから、在宅看取りの体制を進めてくださいと言われています

社会保障費の急速な増大です。2015年度の社会保障費は118兆円が2025年には148兆円が必要になります。今後も右肩上がりが増大していきます。

滋賀県
★平均寿命(男女平均)1位 滋賀県 84.7歳
★健康寿命(男女平均)1位 滋賀県 75.3歳



社会活動が健康維持に役立っていることが、県衛生科学センター、滋賀大の研究でも明らかに

社会参加をした人が、良かったこととして、新しい友達を得ることができた、生活に充実感ができたと思っています。

第2の人生をプランニングし、健康寿命を維持することが重要。そのため「まだら人生」を。まだらとは、「学んで、活躍して、休む」、を繰り返す。



自分たちはどう生きるか (ワークショップの主な意見)

	私の生き方		地域の姿	
	いま	これから	いま	これから
活動		<ul style="list-style-type: none"> ▶元気で生き続けるために、趣味やボランティアがキーワードになると感じた。 ▶趣味、社会参加を持つことで生き生きと過ごせるようにしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ボランティア活動を現在やっている人達は、平均年齢65歳以上であり20年以上前から続けている。 ▶山田学区は地域サロンやボランティアが盛んなイメージがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶地域住民がNPOやサロン活動等、活動内容を知ることが大事。 ▶隣の人が誰か分からないことがない地域作りが必要。 ▶どうしたら元気な老後生活を過ごせるか、老人クラブでも話し合っていきたい。
健康	<ul style="list-style-type: none"> ▶高齢者は健康維持が難しい。早く動く事も難しくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶認知症、病気などになっても住み慣れた地域で死ぬまで元気に過ごしていきたい。 ▶ピンピンコロリをめざしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶高齢になると、昔(以前)何ともなく出来ていた事が出来なくなってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶元気なうちに体力をつけ、それをどう維持するのか? 個人の問題でなく、地域の問題である。 ▶草津市のサロン等の地域活動を、モデルケースとして発信したらどうか。
人生観	<ul style="list-style-type: none"> ▶本日の話を聞いて、老後が「長い」と考えさせられた。 ▶75歳を超えても、普段の生活ではまだまだ自分が高齢者とは思っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶どんな生き方をしたら今の状態を維持できるのか。今から考えていきたい。寝たきりにならないため ▶人生100年。人生設計を考える必要性。趣味などももちたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ▶高齢者にとっては、役割があることが大事であり、また生きがいを持つことが重要。
社会			<ul style="list-style-type: none"> ▶まだまだ知らない滋賀県があると自覚した。 ▶100歳まで生きる超高齢、長寿社会になればもっと多くの諸問題が起こるだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶介護サービスを使うことは安心と思うことはあるけれど、逆に地域から遠ざかることにもなると思う。→ どうしたら介護サービスを使いながら地域で暮らしていけるのか? 考える必要あり